

受付番号	8	受付月日	令和8年8月19日 午後 4時18分
------	---	------	-----------------------

東郷町議会議長 水 川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

日本共産党東郷町議員団

議席番号

15番氏名

門 原 武 志

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 じゅんかい君の増車・運賃見直しについて	(1) 増車・増便による利便性向上について ア 現在の利用状況、運行経費及び運賃収入について伺う。 イ 4台から6台への増車・増便によって、利用者数及び運賃収入をどの程度増加させることを見込んでいるか。 ウ 増車・増便に伴う運行経費について、現時点でどの程度を見込んでいるか。 (2) 利用者一人当たりの運行経費と受益者負担について ア 令和8年度第1回地域公共交通会議資料3-2によると、令和8年度の利用者数の目標を利用者一人当たりの運行経費が令和元年度実績の386円以下となるよう設定している。この数字を、今後の運賃設定においてどのように位置づけていくか。 イ 運行経費の2分の1を利用者負担とする考え方について、その根拠と、公共交通の公益性をどのように考慮しているか伺う。 ウ 令和7年度実績では、年間21万8442人の利用に対して運賃収入は733万300円であり、運行経費8811万6000円に占める割合は約8.3%である。6台化により運行経費が増加する中で、運賃を100円から200円に引き上げることによって、運行経費に対する運賃収入の割合はどの程度になると見込んでいるか。 (3) 運賃見直しと利用促進について ア 65歳以上の高齢者、中学生までの子ども、障害者及びその付き添い1人を無料とする現在の制度について、今後どのようにする考えか。 イ 高齢者等に新たに利用料金を求めることで	町長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2 高齢者の町外移動を支える公共交通のあり方について	利用を控える人が生じる可能性について、どのように分析しているか。 ウ 6台化によって利用促進を図る一方で、運賃を引き上げることが、利用者数の増加という政策目的と整合するのか伺う。 (4) じゅんかい君の公共性と公費負担について ア じゅんかい君は、民間バス事業者が採算性の問題から撤退した地域の移動手段を確保するため、町が公費を投入して運行している。町は、じゅんかい君の公共性・公益性をどのように認識しているか。 イ 公共交通が、高齢者の社会参加、通院、買物、子どもの移動、家族の送迎負担の軽減など、利用者以外にももたらす効果をどのように評価しているか。 ウ 運行経費の一定割合を利用者に負担してもらうことだけを基本とするのではなく、公共交通の公共性を踏まえた公費負担のあり方を検討する考えはあるか。 (1) 高齢者の町外移動における負担について ア 現在、町には高齢者タクシー料金助成事業、デマンドタクシー、じゅんかい君の無料利用などの移動支援がある。これらの制度がそれぞれどのような移動を支えるものとして位置づけられているか伺う。 イ これらの制度は町内の移動については一定の支援となる一方、赤池駅方面など町外への移動については、名鉄バスの運賃を高齢者自身が負担する必要がある。このような町内と町外の移動における負担の違いについて、町はどのように認識しているか。 ウ 高齢者の移動支援について、町内の交通手段にとどまらず、赤池駅方面など町外への移動も視野に入れ、既存制度を一体的に見直す考えはあるか。 (2) 名鉄バスの高齢者向けパスについて ア 名鉄バスの高齢者向けパスは全線を利用できる一方、「シルバーパス 65」は月額 7000 円、「ゴールドパス 70」は月額 5500 円となっている。この料金水準について、高齢者の日常的な移動を支える仕組みという観点から、町はどのように考えているか。 イ 「シルバーパス 65」は、名鉄バスが示す利用例でも、290 円区間で月 12.5 往復以上利用	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
3 「東郷町版敬老パス」の創設について	する場合にお得になるとされている。このような利用頻度を前提とした制度では、日常生活に必要な移動手段を確保したい高齢者にとって利用しにくい面があると考えるが、町の認識を伺う。 ウ 名鉄バスの高齢者向けパスは全線を利用できることから高額となっている。町内及び東郷町民が日常的に利用する町外区間に対象を限定した制度を検討すべきではないか。 (1) 高齢者の移動を保障する制度としての敬老パスについて ア 名古屋市では、高齢者の社会参加や健康増進等を目的として、公共交通を利用できる敬老パスを実施している。こうした制度について、町はどのように評価しているか。 イ 高齢者の移動を支えることは、単に交通費を補助するだけでなく、通院、買物、社会参加、地域経済などにもつながるものと考えるが、町の認識を伺う。 ウ 東郷町においても、町内のじゅんかい君と、赤池駅方面など町外への移動に利用する名鉄バスを組み合わせ、利用対象、負担額、対象区間を整理した「東郷町版敬老パス」を創設する考えはあるか。	町長 担当部長
4 じゅんかい君と名鉄バスの連携について	(1) manaca 導入を契機とした連携について ア 地域公共交通会議において、名鉄バスから、じゅんかい君への manaca 導入について「簡易型端末を開発中なので、導入の力になりたい」との発言があった(令和8年2月19日令和7年度第4回地域公共交通会議)。この発言を町はどのように受け止めているか。 イ manaca 等の交通系 IC カードを活用することで、じゅんかい君と名鉄バスを利用する高齢者の利便性を高めることについて、町はどのように考えているか。 ウ manaca 導入に向けた名鉄バスとの協議を進めるとともに、「東郷町版敬老パス」の実現可能性についても、名鉄バスと協議を開始する考えはあるか。	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。